

平成28年度第2回砺波市総合教育会議 概要報告

- 1 開催日時 平成28年10月26日(水)午後4時～5時
- 2 開催場所 砺波市役所3階小ホール
- 3 出席者 夏野市長、齋藤教育委員長、小櫻教育委員長職務代理者、林教育委員、信田教育委員、山本教育長
- 4 出席職員 横山企画総務部長、三部教育委員会事務局長、北島教育委員会事務局次長、畑教育委員会事務局次長、島田企画調整課長、島田教育総務課長、構生涯学習・スポーツ課長、中島砺波・庄川図書館長、石黒教育総務課主幹
- 5 議 事 (1) 新砺波市教育大綱について
(2) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について
(3) その他
- 6 主な意見
 - (1) 新砺波市教育大綱について
 - ・了解する。
 - ・この案を「砺波市教育大綱」として決定していきたい。
 - (2) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について
 - ・教員をサポートする人材が必要ではないか。発達障害の子どもに対して、保護者への対応を実際に経験をしてきた方に来ていただくと、その子どもたちへの次の対応ができるのではないか。
 - ・就学委員会は、教育支援委員会に変わる動きがあるように、進学した学校でどうしていくか。どのように支援していくかが必要となってくるのではないか。
 - ・校務支援システムについて、通知表や要録関係等の市内統一の物があれば良い。現在のものは教員が作成したものであり、英語教育や道徳の教科が加わり今のものでは限界がある。
 - ・子どもたちが主体的に学習をすすめる上で、パソコンの更新時には、タブレット型パソコンを取り入れていただきたい。
 - ・体育施設の老朽化について、小中学校は耐震化が終了したが、次は体育施設の耐震化を進める必要があるのではないか。また、改修に合わせて競技のルール変更に伴うライン等の改修もお願いしたい。新砺波体育センターには期待をしている。
 - ・こども園が誕生していくが、駐車場が必要なところが出てくるのではない

か。

- ・ふるさと学習について、もう一步進まなければならない時期が来たのではないか。ふるさとを知るだけでなく、ふるさとで暮らそうという意識付けを持たせる必要があるのではないか。

(3) その他

- ・「砺波市教育大綱」は、本日の案で決定とし庁内決裁を経て策定していきたい。
- ・次回は、来年2月に開催する予定である。